



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会
2020年度 活動団体応援プログラム 活動報告書
〔つくば de プレイパークひろめ隊〕（茨城県つくば市）

【団体紹介 HP】 <https://bouken-asobiba.org/play/asobiba-214.html>

1年間の活動の概要

今年度はコロナウイルスの感染拡大に伴い、運営も今までと同様にはいかず試行錯誤の1年でした。子どもたちや周りの大人たちに対して、私たちがその時その時に出来ること、やるべきことをメンバーやつくば市とも密に相談しながら実行してきました。

実行①市内公園の複合遊具等が使用禁止になった際、メンバーと市のやりとりの結果、利用者への配慮がより感じられるような公園看板が追加掲示されました。

実行②身近な「あそび」を提案するインスタグラムアカウントを開設しました。

実行③感染予防対策をしたプレイパーク開催：中央公園（都市公園）で毎月第2日曜午前中開催「つくいちプレイパーク」は1月から、研究学園駅前公園（都市公園）で毎月第2月曜放課後開催「きつつきプレイパーク」は7月から、それぞれ再開しました。
※実行①～③についての詳細はHPをご覧ください。

次の1年間でチャレンジしたいこと！

今だからこそ、「遊び場」「居場所」としてのプレイパークを今後も持続可能な活動としていけるように、場の拡充、メンバーの拡大を目指します。その達成手段の一つとして、つくば市では先例のない行政（担当課）と任意団体との協働事業の推進に引き続き挑戦していきます。



つくいちプレイパーク（2021年1月10日開催）
巨大シートハンモックを作りました

【運営メンバーから一言！】

2つのプレイパークも地域に根付いてきました。応援して下さる地域の方々や行政や公園関係の方々の期待も感じます。単なる「遊び場」だけでなく「居場所」でもあるプレイパークには、対象の年齢性別を問わない無限の可能性があります。今年はより一層、関係各所や地域の方々とのUniteの年に！（代表 吉田絵里子）

【協会から応援メッセージ！】

参加した子どもの親の感想に、「帰宅してからもずっとプレイパークの話を楽しそうにしています」とか、「楽しかったようで、帰宅してから『毎日やっている？』と聞かれました」とありました。プレイパークの余韻が家でもずっと続いている幸せ、いいですね。現在月一開催ですが、『毎日やっている？』の子どもの声にどう応えていくか、皆で一緒に考えていきましょう！（地域運営委員（茨城）山岸主門）



きつつきプレイパーク
（2021年1月11日開催）
火器使用禁止の都市公園で火を焚いて焼き芋をしました。また、8月開催時はブルーシートでウォータースライダーを行いました。どちらも市と打ち合わせを重ね、特別に許可をいただきました。

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会 HP】 <https://bouken-asobiba.org>